

北海道ワンヘルスフェア 2024 の開催報告

10月18日から20日までの3日間、札幌市アクセスサッポロを会場に本会主催の「北海道ワンヘルスフェア 2024」を開催した。例年開催している「いきいきウェルネスフェアインさっぽろ」と同時開催で初めて企画した。

内容は、道内の獣医系大学の協力のもと、ワンヘルスを理解してもらうためのクイズ、セミナーおよび牛や馬の実習モデルを展示した。

酪農学園大学では、薬剤耐性菌や人獣共通感染症に関するセミナーや標本を顕微鏡で観察したり、乳牛の模型による搾乳体験および乳牛のベンチで写真撮影したりするコーナーが設けられた。

北海道大学では、エゾウイルス発見をはじめ、ワンヘルスリサーチセンターの業務内容の解説やワンヘルスに関するクイズコーナーで市民が多数参加した。

帯広畜産大学は、大学における獣医学教育の始まりであった馬に関して、人と馬に関する活動の展示・報告と、大学から馬運車に乗ってやって来た実物大の馬の実習模型が目を引いていた。

北海道庁では、人獣共通感染症、ヒグマ対策および北海道動物愛護センターあいにきたの防災対策、里親探しなどのパネル展示を行った。

NPO法人北海道しっぽの会とニャン友ねっとわーく北海道では、多頭飼育崩壊の対応、災害時の救護活動ならびに里親探しについて展示・説明を行った。

道民の皆様にワンヘルスの「ワン」は犬のことではなく「ひとつ」であることは理解してもらえたと感じている。

3日間を通しての来場者は7,000人を超えたが、中学生高校生の来場者を多くするための案内方法をどうするか、次年度に向けた課題となった。

(北獣専務理事 廣田 和久 記)

会場の様子を期間限定で公開しています。

動画アドレス：<https://youtu.be/lVDUBicjVMA>

